

令和 2 年度使用

# 小学校用教科用図書研究資料

外国語

宮崎県教育委員会

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点1〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

| 発 行 者  | 概 評  |
|--------|--|
| 2 東 書  | <p>(1) 単元の構成に関しては、具体的なテーマを設定した「Small Talk」を位置付け、既習表現を繰り返し活用できるようにし、「Over the Horizon」で世界に視野を広げるなど、各単元の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、自分の身の回りの話題から世界の話題へと徐々に視野を広げるなど、深い学びにつなげることで、教科の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> |
| 9 開隆堂  | <p>(1) 単元の構成に関しては、「聞くこと」を中心とするインプットの活動から、「話すこと」、「書くこと」のアウトプットの活動へと段階的に学習を深めるようにするなど、各単元の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、各単元の学習に加え、複数の単元ごとに身に付けた知識や技能を活用する「Project」を設定するなど、教科の目標を達成できるような工夫が見られる。</p>         |
| 11 学 図 | <p>(1) 単元の構成に関しては、単元ごとの目標を明記してゴールイメージをもたせ、単元の最後に4技能5領域をバランスよく活用する「Use &amp; Check」を設定するなど、各単元の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、各単元の学習に、既習事項を活用する「Project Time」を年2回加え、深い学びにつなげることで、教科の目標を達成できるような工夫が見られる。</p>  |
| 15 三省堂 | <p>(1) 単元の構成に関しては、「Panorama」で学習意欲を高め、「聞く」、「話す」活動を繰り返し設定したり、明確な場面を設定してコミュニケーションを図らせたりすることで、各単元の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、「見通しをもつ」、「表現に慣れる」、「設定された場面で表現する」の3段階で大単元を構成するなど、教科の目標を達成できるような工夫が見られる。</p>     |

|        |  |
|--------|--|
| 17 教 出 | <p>(1) 単元の構成に関しては、身近なテーマを設定し、目的意識や相手意識を高めながら学習を進めたり、「Sounds and Letters」を配置し、文字と音との関係に慣れさせたりするなど、各単元の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、各単元の学習に加えて、他教科の学習と関連した教材を配置するなど、学びを広げながら教科の目標を達成するための配列の工夫が見られる。</p>                              |
| 38 光 村 | <p>(1) 単元の構成に関しては、ゴールイメージを示し、「Hop!」、「Step1」、「Step2」、「Jump!」の流れでコミュニケーションの質を高め、4技能の活動をバランスよく設定するなど、各単元の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、「Fun Time」・「世界の友達」・「言葉について考えよう」を設定し、学習を広げることで、教科の目標を達成できるような工夫が見られる。</p>                         |
| 61 啓林館 | <p>(1) 単元の構成に関しては、「GOAL」と「Looking Back」を通して学びを実感させ、「Let's Read and Write」で書く活動に取り組んだり、「Did you know?」で異文化にふれたりすることで、各単元の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、前学年の学習を振り返る「Pre Unit」や、複数の単元ごとにまとめの「REVIEW」を設定することで、教科の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> |

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

| 発 行 者  | 概 評  |
|--------|--|
| 2 東 書  | <p>(1) 「Your Turn」では、導入で扱った音声を繰り返し聞き活動から、基本的な表現を使って話す活動へ段階的に学習する場を設定するなど、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元末の「Enjoy Communication」と、複数の単元ごとにまとめとして「Check Your Steps」を設定するなどして、これまでの学習内容を活用しながら、段階的に自己表現をすることで、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p> |
| 9 開隆堂  | <p>(1) 巻末の「文字に慣れよう」では、単元ごとに音を聞いて文字を想起する活動から、単語等を書き写す活動へ段階的に活動を設定するなど、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) これまでの学習を復習・活用する場として「Project」を年間2回設定し、明確に示された「めあて」を達成するために、学んだことを総合的に活用しながら自己表現をすることで、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p>                     |
| 11 学 図 | <p>(1) 簡単な語句や基本的な表現に慣れ親しんだり、自分にとって必要な情報を得たりするために、聞いて答える活動を繰り返し設定するなど、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 身に付けた知識・技能を確認し、活用する「Use &amp; Check」の活動を単元末に設定するとともに、年間2回の「Project Time」において、ペアやグループで発表する活動を行うことで、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p>        |
| 15 三省堂 | <p>(1) 単元ごとに、文字がもつ音に繰り返し慣れ親しむ「Sound Chant」や、文字と音との関連に気付く「Enjoy Reading」を設定するなど、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 身に付けた知識・技能を表現する場として「JUMP」を設定し、場面や目的を変えて、ペアでのやりとりや個人での発表など、様々な言語活動を取り入れながら繰り返し表現することで、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p>           |

| 発 行 者  | 概 評   |
|--------|---|
| 17 教 出 | <p>(1) 単元ごとの「Activity」において、児童が基本的な表現に主体的に慣れ親しむために、言語活動の様子を表した挿し絵を掲載するなど、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の学習の中で、「Activity」を複数回設定したり、単元末にまとめとして「Final Activity」の発表等を行ったりするなど、徐々に難易度を高めた自己表現する場を増やすことで、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p>  |
| 38 光 村 | <p>(1) 文字や語句を書くことに慣れ親しむために、語句を鉛筆でなぞる活動から、必要な語句を選んで書く活動へと段階的に学習活動を設定するなど、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 複数の単元ごとに「Review」を設定し、今までに学習した表現を聞き、表現の仕方への理解を深めたり、単元末の「You can do it!」で、学習内容を活用して自己表現をしたりすることで、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p> |
| 61 啓林館 | <p>(1) 語や句の強勢や、文におけるイントネーションを視覚的にとらえる配慮をし、英語特有のリズムを理解できる活動を設定するなど、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 年間3回の「REVIEW」で、今までに学習した内容を振り返るとともに、実生活を想定した場面において既習事項を活用したり、単元末の「Activity」で自己表現をしたりすることで、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p>             |

### 3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

| 発 行 者  | 概 評   |
|--------|---|
| 2 東 書  | (1) 巻末には単元ごとに「読む」・「書く」内容を整理した「Let's Read and Write」を設定し、別冊「Picture Dictionary」には2学年でできるようになることを示した「CAN-DO リスト」、中学校での辞書の活用を視野に入れた「さくいん」等を掲載し、児童にとって分かりやすくなるような工夫がなされている。 |
| 9 開隆堂  | (1) 何を学ぶのか・何ができるようになったかを示す「CAN-DO マップ」や「この教科書で学んだことリスト」、また各単元のねらいに即した効果的な絵カードを掲載し、児童が抵抗なく学習に取り組むことができる文字サイズが使用されるなど、児童にとって分かりやすくなるような工夫がなされている。                         |
| 11 学 図 | (1) 前学年の学習内容を確認し、基本的な表現の定着を図るための「Pre-lesson」や、歌を歌うことで英語に対する慣れ親しみを深める「Songs for Lessons」、また単元ごとにアルファベットの確実な定着を図るための繰り返しの活動が設定され、児童にとって分かりやすくなるような工夫がなされている。              |
| 15 三省堂 | (1) カテゴリーごとに示されている「Words & Phrases」や、児童が毎時間活用する「教室で使う英語」・「会話を続けるくふう」、また学期ごとに、できるようになりたいことを記入し見通しをもって学習に取り組むための「My Goal」等が設定され、児童にとって分かりやすくなるような工夫がなされている。               |
| 17 教 出 | (1) イラストの場面設定から英語を引き出す「Classroom English」・「Start Together」を設定し、カテゴリーごとに示されている「My Word Bank」や、切り取って会話や発表に活用することで学習効果を高める絵カード・ワークシート等が掲載され、児童にとって分かりやすくなるような工夫がなされている。    |
| 38 光 村 | (1) 児童が見通しをもって学習に取り組めるように、「Hop!、Step1、Step2、Jump!」を見開き2ページずつで構成し、文字や文化への気付きを促す「Alphabet Time」・「Fun Time」を設定し、カテゴリーごとに示されている「絵辞典」を掲載するなど、児童にとって分かりやすくなるような工夫がなされている。     |
| 61 啓林館 | (1) 単元ごとに学習内容の定着を振り返ることができる「Looking Back」や、聞くことを重視し、抵抗なくアウトプットすることを目指した「Listen and Play」等を設定し、場面設定から単元の見通しをもつことができるイラストを使用するなど、児童にとって分かりやすくなるような工夫がなされている。              |

【データの観点】

種目 外国語

※ 表内の数値は、外国語部会で設定した内容項目により全発行者について調査したものであり、数値の大小を表面的にとらえるのではなく、具体的な内容と合わせて各発行者の特徴をとらえる参考とすること。

| 視点      | 発行者                         |             | 2           | 9       | 1 1        | 1 5     | 1 7     | 3 8        | 6 1  |
|---------|-----------------------------|-------------|-------------|---------|------------|---------|---------|------------|------|
|         |                             |             | 東           | 開       | 学          | 三       | 教       | 光          | 啓    |
|         |                             |             | 書           | 隆       | 図          | 省       | 出       | 村          | 林    |
|         |                             |             |             | 堂       | 函          | 堂       |         |            | 館    |
| 共通      | ① 総ページ                      |             | 105<br>別冊49 | 147     | 155        | 137     | 143     | 165        | 137  |
|         | ② 重さ                        | 合本（グラム）     | 282         | 380     | 428        | 294     | 338     | 366        | 306  |
|         |                             | 別冊（グラム）     | 116         |         |            |         |         |            |      |
|         | ③ サイズ                       | 縦（cm）×横（cm） | 29.5        | 25.6    | 29.5       | 25.6    | 25.6    | 25.6       | 25.6 |
| ×<br>21 |                             |             | ×<br>21     | ×<br>21 | ×<br>21.1  | ×<br>21 | ×<br>21 | ×<br>21    |      |
| 種目別     | ④ 単元数                       |             | 8           | 1 1     | 1 0        | 7       | 9       | 9          | 8    |
|         | ⑤ 「書くこと」の活動を取り扱ったページ数       |             | 4 5         | 1 8     | 4 5        | 1 9     | 2 7     | 3 1        | 3 2  |
|         | ⑥ 「読むこと」の活動を取り扱ったページ数（ ）内は歌 |             | 4 4         | 1 8     | 5 3<br>(5) | 9       | 2 0     | 2 0<br>(9) | 1 9  |
|         | ⑦ 第3、4学年の外国語活動との接続に関するページ   |             | 1           | 2       | 1 1        | 7       | 8       | 1 0        | 4    |
|         | ⑧ 中学校の外国語とのスムーズな接続に関するページ数  |             | 7           | 1 5     | 1 0        | 0       | 8       | 1 0        | 9    |

※ 調査対象は、各発行者の6年生の教科書とした。（ただし、⑦については5年生の教科書を対象とした。）

※ 総ページ数は、口絵や折り込み、巻末資料、巻末付録も含めた全体のページ数である。

※ 「書くこと」「読むこと」については、それぞれ扱っている部分があれば、全て1ページとして数えた。また、単元内にある歌は「読むこと」に入れた。

※ 中学校への接続に関するページは、中学校生活への興味・関心を高める単元と中学校の学習内容につながるページの両方をカウントした。